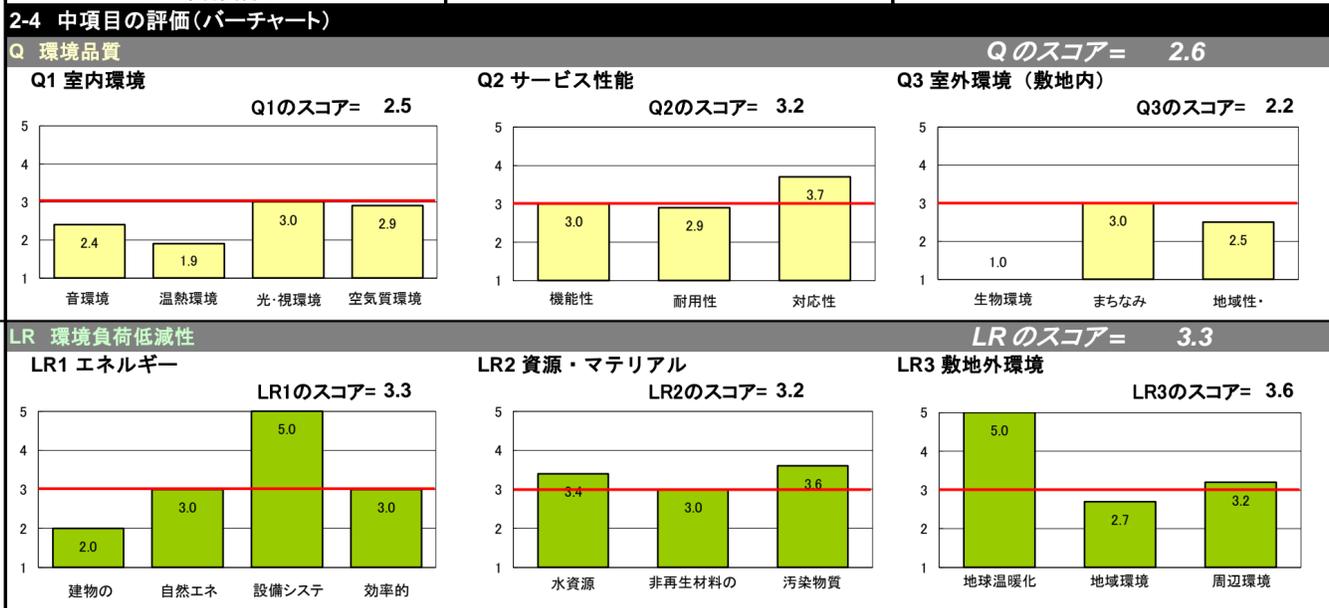
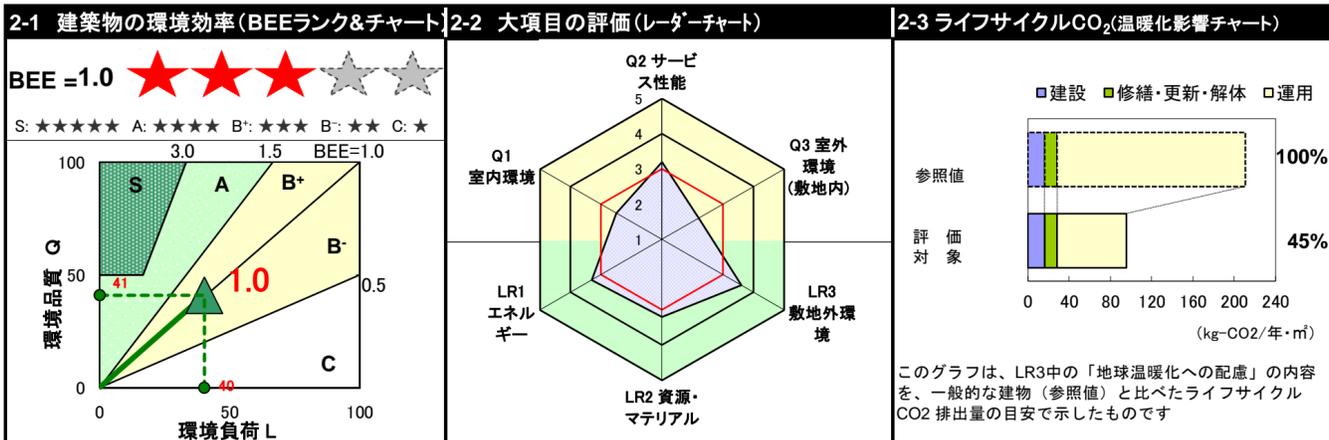


CASBEE[®] とっとり

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)TRIAL米子大谷店新築工事	階数	地上1F
建設地	鳥取県米子市大谷町28番地	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	867人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 予定	評価の実施日	2014年3月14日
敷地面積	9,756 m ²	作成者	伊東 正太郎
建築面積	4,231 m ²	確認日	2014年3月17日
延床面積	4,153 m ²	確認者	吉永 拓郎



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺工場・商業環境に配慮し、地域の賑わいを創出できるような計画である。不特定多数の方が利用する施設であるため、安全に配慮した設計を目指している。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>・空調機や換気扇の位置に配慮し売場の室内環境の向上に努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・売場の天井高を高くすることで開放的な空間とした。 ・店舗売場は外部からは段差なしでアクセスできるため明快で安全な計画である。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>・敷地内に緑地を設け、周辺環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・照明、空調機器で高効率の機器を採用し省エネルギーに努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・水栓に節水コマ付や省水型の器具を採用し、水資源保護に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・十分な駐車、駐輪スペースを設け、施設内への車の出入りの際、周辺交通に影響を与えないよう配慮した。</p>

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 15点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	点 / 25点	
合計	点 / 90点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される